地域で支えるコミュニティ交通再編実証支援等業務委託 仕様書（案）

本仕様書は、地域で支えるコミュニティ交通再編実証支援等業務委託について必要な事項を定めたものである。

1. 事業名称

地域で支えるコミュニティ交通再編実証支援等業務委託

2. 業務の目的

名張市では、15の地域ごとにある「地域づくり組織」が主体・中心となり、それぞれの地域課題を自分事として捉え、自らで考え解決する住民自治を進めており、交通に関する課題も、交通空白地域等では地域内に「地域コミュニティバス運行協議会」を立ち上げ、市からの補助金を主な財源として、地域の移動ニーズに応じたバスを地域自らが運行主体となり地域交通を支えている。（補助金型：4地域（4条運行）、委託型1地域（78条2号運行））

しかし、高齢化の進行やコロナ禍を経た生活スタイルの変化による利用者の減少や人件費、燃料費などの上昇により運行経費が増高し、市の補助金だけでは賄いきれず、地域の負担が増加するなど、再編の必要性が高まっている。

本業務は、名張市が実施する薦原地域におけるコミュニティ交通再編に係る実証運行の円滑な運行を支援するとともに、実証運行の検証、他地域への横展開に向けた分析・評価を行うことで、持続可能なコミュニティ交通の構築へつなげることを目的とする。

3. 前提条件

本業務は、国土交通省所管「令和7年度「『交通空白』解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト」の「『交通空白』解消緊急対策事業」の補助金を活用し実施する事業のため、当該補助金の趣旨に則り、事業を実施することとする。

4. 履行期間

契約締結日から令和8年2月27日まで

5. 業務内容

名張市薦原地域における地域コミュニティバス「コモコモ号」（運行主体：薦原コミュニティバス運営委員会、運行事業者：三重交通株式会社、【補助金型】）の利用低迷を受け、交通空白地自家用有償旅客運送による公共ライドシェア（道路運送法第78条2号）及び定時定路線バス（道路運送法第4条）の複合形式に再編を行うに当たっての実証運行等実施のために以下の業務を行う。

なお、実証運行業務を名張市より薦原コミュニティバス運営委員会へ委託を行うことにより実施する予定である。

（1）実証運行支援業務

ア 実証運行計画の具体化支援

運行ルート、ダイヤ、運賃設定、利用方法等について、関係者（名張市、薦原コミュニティバス運営委員会、住民、近畿大学工業高等専門学校教授）との協議・調整、実効性の高い運行計画作成の支援を行う。

イ 運行体制構築支援

運行事業者、ドライバー、関係機関等との連携体制構築、役割分担、運行管理体制等について助言・提案を行う。

ウ 運行開始準備支援

関係機関との協議・調整、運輸局への届出、広報計画の立案・実施、システム導入支援（原則ランニング経費不要なシステム）等、円滑な運行開始に向けた準備を支援する。

エ 運行中の助言・支援

運行状況のモニタリング、関係者からの意見収集、課題解決に向けた助言、運行計画の改善提案等、持続的な運行を支援する。

(2) 調査分析支援業務

ア 基礎データ収集・分析

利用者の属性、利用状況、ニーズ等を把握するための調査（ヒアリング調査、アンケート調査等）を企画・実施し、データを分析する。

イ 評価指標設定・効果測定

実証運行の効果を定量的に評価するための指標を設定し、運行結果を測定・分析する。

ウ 本格運行計画支援

実証運行の結果、調査分析結果等を踏まえ、本格運行に向けた最適な運行計画（運行ルート、ダイヤ、運賃、運行体制、持続可能な事業計画等）を提案する。

エ 地域公共交通計画との整合性検討

本格運行計画が名張市地域公共交通計画と整合するよう検討を行う。

オ 他地域への展開可能性検討

本事業の成果や課題を分析し、他地域への展開可能性について、他地域の状況等を把握・分析した上で検討する。あわせて、本市のコミュニティ交通への補助事業の在り方についても検討する。これらの業務について、報告書として整理する。

(3) プロジェクトマネジメント業務

ア 業務進捗管理

発注者と随時打ち合わせを行い、事業進捗に係る相談・支援を行うこと。

イ その他事業運営に関わる相談・支援を行うこと。

6. スケジュール概要（予定）

年月	内容
令和7年8月	契約・打合せ
8～9月	実証運行内容の検討・ ※運行開始までに利用者への周知活動
9月	公共交通会議への実証運行計画の承認申請・運輸局への届出
10月	・実証運行開始 ・運行開始後利用者アンケートの実施 ・本格運行に向けた改善検討、
2月	・アンケート調査結果及び、利用者分析報告 ・公共交通会議への本格運行計画の承認申請・運輸局への届出
2月末	国への補助金実績報告、本業務委託終了

3月末	実証運行終了
4月	本格運行開始

7. 委託料の請求及び支払

委託料の請求及び支払いについては、一括払いとし、発注者が業務の履行を確認した後に受託者へ支払うこととする。

8. 秘密の保持

本業務の履行に関して知り得た情報を第三者に利用させ、又は開示してはならない。また、個人情報の取扱いについては、名張市個人情報保護法施行条例を遵守するものとし、データの秘密保持について万全の管理を行うこと。

9. 著作権

作成される成果物の著作権等の取扱いは、次に定めるところによる。

- (1) 本事業により作成された成果物の所有権、著作権及びその他の権利は、発注者に帰属するものとする。ただし、成果物に受託者又は第三者の著作物が含まれている場合、当該著作物（当該著作物を改変したものを含む。）の著作権は、従前からの著作権者に帰属するものとする。
- (2) 本事業の成果品等に、受託者が従前から保有する知的財産権（著作権、ノウハウ、アイデア、技術及び情報を含む。）が含まれていた場合には、権利は受託者に留保されるが、発注者は、本事業の成果品等を利用するために必要な範囲において、これを無償で利用できるものとする。
- (3) 受託者は、発注者に対し、著作権人格権を行使しないものとする。

10. その他の事項

- (1) 発注者は、本業務の処理状況について随時調査し、必要な報告を求め、監査することができる。また、本業務の実施について、必要な事項に係る指示をすることができる。
- (2) 契約期間終了時には、蓄積された全てのデータを発注者に無償で引き継ぐこと。データ形式はCSV形式など、発注者で分析・加工が可能な状態での提供を基本とする。その際、受託者に発生する費用については、別途請求しない。
- (3) 運用後に判明した本業務に関わる不適合が確認された場合は、受託者にて無償で改修すること。
- (4) 本業務は、国土交通省所管「令和7年度「『交通空白』解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト」の「『交通空白』解消緊急対策事業」の補助金を活用した事業であることから、補助申請・実績報告等に関する必要書類の作成や手続きを支援するものとする。
- (5) この仕様書の解釈に疑義が生じた場合又は定めのない事項が生じた場合については、双方協議の上実施する。